

目次

1 はじめに	3
1.1 問題意識	3
1.2 研究の目的	4
1.3 本稿の構成	4
1.4 本稿における当事者の定義	4
2 摂食障害とは	6
2.1 摂食障害の医学的分類と特徴	6
2.2 日本における摂食障害の歴史	8
3 先行研究	10
3.1 先行研究整理の視点	10
3.2 社会学における摂食障害の先行研究	10
3.2.1 原因論研究	10
3.2.3 小括	17
3.3 社会学におけるカミングアウトの先行研究	17
3.3.1 スティグマとパッシング	17
3.3.2 カミングアウトという行為の解釈	19
3.3.3 二項対立への批判	21
3.3.4 小括	22
4 研究の方法	24
4.1 調査概要	24
4.2 調査対象者のプロフィール	25
4.3 倫理的配慮	25
4.4 問題当事者としての調査者	26
5 調査結果・分析	27
5.1 調査対象者 A	27
5.1.1 概要とプロフィール	27
5.1.2 A の調査結果・分析	27
5.2 調査対象者 B	34

5.2.1 概要とプロフィール34
5.2.2 B の調査結果・分析.....	.35
5.3 調査対象者 C.....	.39
5.3.1 概要とプロフィール39
5.3.2 C の調査結果・分析39
5.4 調査対象者 D.....	.43
5.4.1 概要とプロフィール43
5.4.2 D の調査結果・分析43
6 考察49
6.1 分析の方向性の意図.....	.49
6.2 何がカミングアウトを阻むのか.....	.50
6.3 カミングアウトをとおして求めるもの.....	.51
6.4 問題意識への解答.....	.52
7 結論53
[参考文献]54